

会長の挨拶

関西日中平和友好会 会長 神谷 坦

新年明けましておめでとうございます。皆様方にはご健勝にてよき新年を迎えられたことと、お慶び申し上げます。日頃より関西日中平和友好会の取り組みにご賛同、ご尽力いただき誠に有難うございます。心より御礼申し上げます。

くしくも今年は平成の最後の年となります。昨年は日中平和条約締結 40 周年という節目に日中間では李克強総理の来日、安倍晋三総理の訪中と雪解けが進み、日中関係新時代へと大きく舵を切ったと確信いたします。

関西日中平和友好会は今年設立 40 周年を迎えますが、会員の高齢化と、世界情勢の大きな変化に対応するためには、当会運営の指針を今一度再考し内部的に革新を行わなければならない時期となっています。4 月 1 日をもって一般社団法人への移行を決定しており、対外的にも、会の今後の会員獲得、ビジネス、友好交流などに大きく貢献できるものと確信しております。平成の終わりと共に当会も新たに生まれ変わり「民間交流」をますます加速させたいと思っております。

昨年 11 月には習近平主席肝いりの第一回中国国際輸入博覧会が上海で開催されました。

日本からも多くの企業が出展し盛況であったと聞いております。これは今後中国が大いに輸入に力を入れ少しでも貿易摩擦を減らす意思の表れかと思われれます。関西日中平和友好会の会員様にはこの機を逃さず商機をとらえていただきたいものです。しかし、中米間の貿易戦争は止まるどころを知らず、大変な方向に向かっていくのではとの懸念が大いにあり、日中間への影響をも懸念されます。

一方、昨年は関西地方も多くの大雨、地震、台風に見舞われ、思いもよらず関西空港が数日間閉鎖されました。まさに地球温暖化の関係もあるのではと懸念します。そんな中 2025 年の大阪万国博の誘致を勝ち取ったことは官民一体となって尽力した証で喜ばしいことでもあります。

先に述べましたが関西日中平和友好会は「民間交流」に重きを置いております、中国駐大阪総領事館、中国国際友好連絡會、中国駐大阪観光代表処、日本国内各日中友好団体様などにより交流を深め、情報交換の場をより一層多く持ち今後に繋げることが当会の発展、継続につながるものと思います。当会も会員のやや高齢化は否めません。今後は若い方々が当会に興味を持っていただけるきっかけ造りを具体的に進め、会と会員の皆様が共に発展できる事業を展開していくような運営を進め、一人でも多くの方々が入会いただけるよう努めますので、今後とも皆様方のご協力、ご鞭撻をお願い致します。

2019 年 1 月



一般社団法人
関西日中平和友好会
Kansai Japan China Peace and Friendship Association